

1) - 10 沈み込み帯浅部のスロースリップはトラフ軸まで到達するか？【安全・安心】

研究開発期間（平成 26～30 年度）

[担当者] 芝崎文一郎

ニュージーランド東方沖ヒクラング沈み込み帯において、海底水圧計を用いた海底地殻変動観測が行われ、詳細なスロースリップの伝播様式が調べられる。本課題では、観測結果を説明する物理モデルを構築する。平成 30 年度は、ヒクラング沈み込み帯の浅部短期的、深部長期的スロースリップと、M7.8 カイコウラ地震により励起された浅部短期的、深部長期的スロースリップのシミュレーション結果を観測事実と比較し、自発的に発生するスロースリップと励起されたスロースリップの違いを明らかにした。